

家の内

掃きたてて見よ

塵はまっ

いづれの内も

変わりあらめや

甘木親教会

初代教会長

安武松太郎師御款

いっしん

9月号

第428号

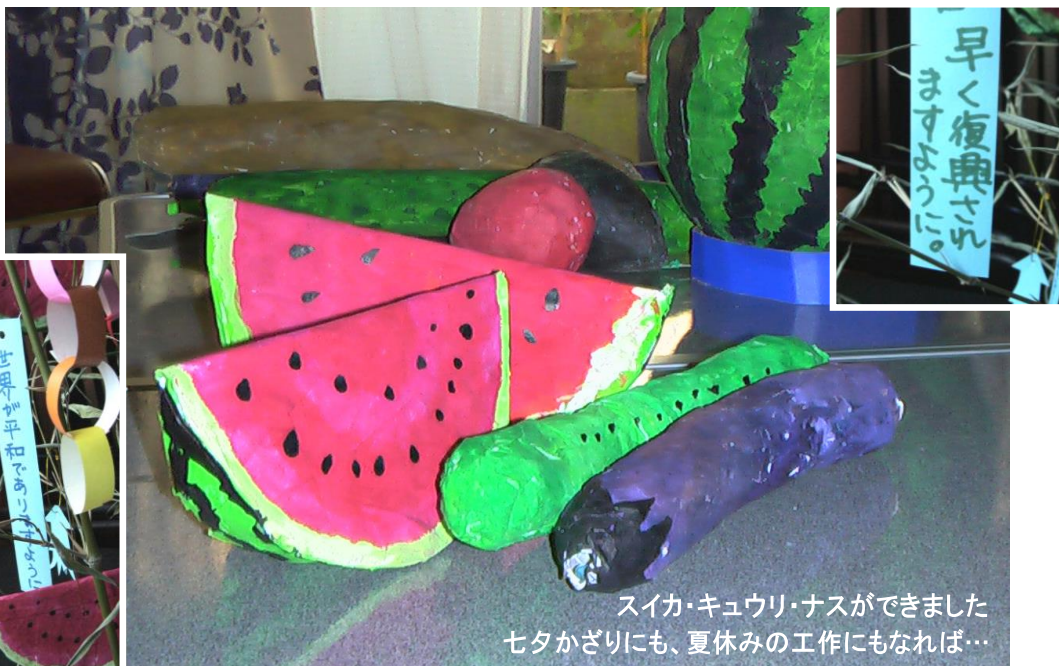
令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



スイカ・キュウリ・ナスができました
七夕かざりにも、夏休みの工作にもなれば…

「七夕」 少年少女会

例年、夏休み終盤に、鹿児島地方教会連合会主催で開催されていた「夏のつどい」(親子ピクニック)も「コロナ禍の影響で中止になりました。」

そこで、加治木少年少女会では、「七夕」と「工作会」をかねた例会が開かれました。

「七夕」の準備中、「七夕」について調べてみますと「…五節句は季節ごとに魔除けとなる節句料理を食べて万病と邪気を払い無病息災を願う行事で、その中のひとつの節句で、七夕(せち)の節句と言ひ、牽牛星と織女星の伝説由来の女性の針仕事の上達を願う中国古来の行事と、日本古来の豊作を祈る祭りが合わさったもの」とあります。

日本では古来、伝染病・地震・津波・大風雨などの大災難の前に人はなすすべもなく、神仏に祈る以外に手の打ちようがなかったところから生まれてきたといえます。

医学や科学技術の進歩著しい現代は、感謝すべき幸せな時代です。

少年少女会「七夕」…P1
復興支援活動…P4~5

月例祭教話 要旨…P2~3
お知らせ…P7 教会行事…P8

《月例祭教話》

※八月の月例祭教話の要旨

教会長

信心させていただいておりますと、願い通りにならないことも起こってきます。

その時、どのように判断したら良いのでしょうか？

そのような時が、神様の定期試験のようなもので、こちらがどのような答えを出すか、神様はご期待されながら、もっと徳を持たせるだけの実力ができたかどうかを見定めてあるといえます。

加治木教会では「おかげを信ずる信心から、親神様を信ずる信心に」改まってしまうことにより、親神様から信ぜられ、親神様からお喜びいただける、すなわちご神徳を頂ける信



安武松太郎師

心に育っていくことをいつもお話し申しております。その内容は、甘木親

教会の初代 安武松太郎先生の頂かれた、教祖様のご信心の内容であります。

最もわかりやすいところは、次のようなところであります。

~~~~~

【安武松太郎師 教話集十集より】

右と願えば右、左と願えば左となれば、無論おかげとは申しますが、反対の結果になると、「おかげではなかった」と申しますけれども、真のおかげというものは、ただ一心に願って、本当に私どものためによいこと、自分自身のためにも人のためにもよいことがおかげであります。

\*

この親神様を本当に信じるというと、どんな境遇にあっても、いかなるお願いがしてありましても、正反対の結果がなつて、辛酸をなめることがあります。その場合に、親神様を本当に信じておれば、闇の中にも光明を確かに明らかに認めることができるようになります。

\*

親神様というものがはっきりと信じ

られておりませんと、闇はいつまでも闇でありますから、そこに、ついに方向を間違えることができます。

\*

親は無論子本位であることは申すまでもありません。どこまでも限りなく子を愛するのが親であります。

\*

しかし、われわれの信心は、多くは親神様を信じているのではなく、おかげを信じているのであります。

\*

だから信心してもおかげがない。それではいけないのであります。本当に信心すれば、意のごとくなくてもならなくてもおかげである。

かえって私の今までの経験によりますと、その当時反対の結果になったことは今日になっておかげになったのでございませぬ。

~~~~~

甘木親教会の初代 安武松太郎先生は、小倉教会に最初に修行に上られた時に四神様の「親が信心のほせというようでは調うまい」というお言葉で、残念な思いで教会修行を辞され、十年間信者の立場で御用をさ



(ご神前参考写真7/5祈願祭)

れました。

しかし、返ってその十年間に、世の中に揉まれ、酸いも甘いも噛分けられ、人情の機微に触れる苦労というような経験をされたため、後々甘木に布教に出られて、桂先生から「袖の稽古ができておるので舞台上に立つだけで干両役者と言われる」というようにおかげを蒙られました。

さらにまた、大正九年に四男登様を六才で亡くされ、昭和三年には長男百太郎様を三十才で亡くされると

いうことがあっております。

しかし、そのことを通し「ほんとうの親心」を知られ「教祖様の頂き方がまるで違ったものになる」と、ご信心をお進めになられ、多くの人々が末々まで救い助けられる結果となられています。

また、それが布教百十五年を過ぎた今日、末々まで繁盛されることになっていきます。

そのように、右と願ったことが左となった時が、信心の要の時でありましょう。

末々まで繁盛できるチャンスを生かして行くことができるよう、事があった時こそ、信心向上のおかけを蒙らせていただいで行きたいものです。



月迫 蘭さん(中1)

永原佳歩さん(小1)

安楽泰成くん(年長)

少年少女会 「チャレンジカード」

加治木少年少女会のみんなが取り組んだ「チャレンジカード」は、五名の幼稚園から中学生までの会員の皆さんが、五月から七月まで取り組むことができますので、少年少女会からステキなおくりものを贈り表彰いたします。

沖縄からも届きました！



有蘭 華さん(小1)



有蘭 彰真くん(小2)

熊本県南部豪雨

支援活動

八月十九日(水)、甘木親教会(含 出社教会)、多良木教会、鹿兒島教会、加治木教会からの計八名で、人吉教会の会堂広前の床下の清掃作業に当たりました。

まず床下に乾燥してこびり付いた泥を取り出し、三方向の蛇口からホースを引き込み、高圧洗浄機一台を使い、あと二本のホースは洗車用の棒タワシを使うなどして、床下の束や束石や根太木にこびり付いた泥を洗い落としました。

床下にたまった水は、水中ポンプで汲み出し、残り一センチほどは、いったんチリ取りなどですくいバケツなどに入れてから汲みしました。八名で作業に当たりましたので、夕方までに広前は洗浄が終わりました。

人吉教会の清掃作業に、大口教会・宮之城教会の教師と信奉者(ご婦

人の皆さんが、七月中は二十七日・三十日、八月は一日・十五日・十七日に、拭き掃除に当たられました。広前横のテーブルやイス用の押し入れは、床もテーブルもイスも泥にまみれていたのが、きれいに拭き上げられていました。大口教会からは、久七峠を越えれば四十分で着くとはいえ、猛暑の中でのたびたびの清掃作業で、見違えるようにきれいになって行きます。



8月19日 人吉教会



8月19日 人吉教会



8月8日



8月19日



8月19日

水中ポンプで汲み上げ



人吉教会

残りは、チリトリなどですくい汲み上げ

加治木教会で
集められた
新旧タオルなど
支援物資を運ぶ
(8/19) →



フローリングを
張る前の床下の
清掃作業
(8/26)
←

この日(八月十九日)、加治木教会で集まった、新旧タオルなどの支援物資を持って行かせていただきました。多くの皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。廊下も、板の間も、作業があると泥だらけになってしまいますので、古タオルの雑巾は必需品で、新品のタオルはご神前や神饌室などで使われます。

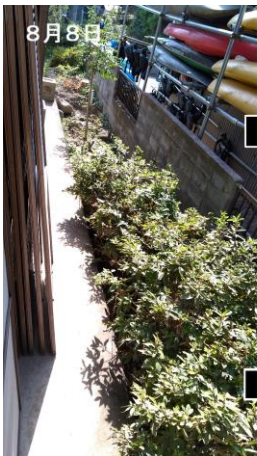
八月二十六日(水)、人吉教

会にて北九州教区少年少女会連合会の若い先生方が八名、甘木親教会や各方面から、計十九名が入り、会堂ご神前周辺の床下の洗浄作業・客間のフローリング張りなどの作業が行われました。

北九州教区少年少女会の若い先生方は、床下などでの動きも機敏で活力的で、複雑な作りの床下もライトを照らしながらの作業で、ひとしお熱心に取り組み感心させられました。

フローリング張り作業は、作業工程が思いのほか複雑で、細かい手順をキッチンと行わなければならず、専門的なことも熟知したメンバーが何人かいたためお座敷の間が、一日でなんとかできあがりました。

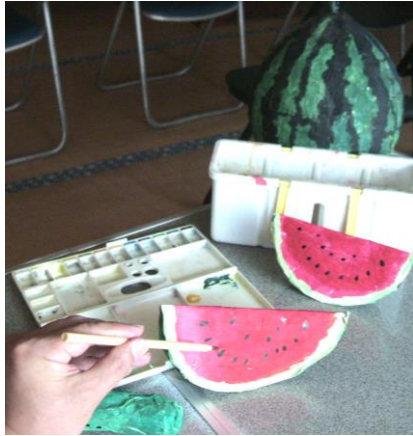
北九州教区少年少女会の若い先生方は、寝袋などの宿泊道具を持参し、翌二十七日まで作業に当たられました。



少年少女会 「七夕」

& 工作

八月十六日(日)少年少女会では、祈りを込めた短冊を作り、夏休みの宿題にも提出できる、スイカや野菜を作って、笹につけて、七夕飾りを作らせていただきました。



感 詠

教会長 (令和二年八月)

猛暑たる毎日被災地人吉の
住人いかに過ごしてあるか
若き頃我もそれほど動けたる
ことを礼びぬ若者を見て
還暦を過ぎて疲れは取れにくし
喜寿過ぎればさらに取れぬと
猛暑なる日は過ぎたるか暁闇に
虫の音聞こえ秋を待ちぬる
豪雨後の支援作業のその後は
二日三日は回復期間
窓を開け東の空にオリオン座
少し北向き靈地を拝す
信心の道の味わいかななるものか
道あゆみつつ深く知りたし

お誕生

おめでとうございます

七月二十五日、萬代慎太郎さん麻
 佑子さんご夫婦に、次男太一郎(たい
 ちろう)くんが誕生されました。お健
 やかなご成長をお祈り申し上げます。



少年少女全国大会

「まごころ運動」の

結果

皆さんの真心のこもる

お祈りとご協力のおかげで

折り鶴 一四二二羽

古切手 二四一枚

集まりました。

少年少女全国大会の

わかほ祭におこなわれました。

ありがとうございました。



八月一日、月例祭後
 折り鶴つなぎ作業を
 「まごころ」を込め
 ながら和気あいあい
 とした雰囲気の中で
 糸に通させていただ
 きました。



あしあと(教会行事報告)

8月

- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半
- 8 (土) 復興支援活動(人吉) (教会)
- 9 (日) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(天神堂 併せて) 10時半
- 14 (金) 市来家霊祭
- 16 (日) 少年少女会「七夕」 10時半
- 19 (水) 復興支援活動(教会)
- 21 (金) 清掃御用 10時
- 22 (土) ●月例祭(天神堂) 共励会 13時半
- 23 (日) 星原家霊祭
- 26 (水) 復興支援活動(教会)
- 31 (月) 清掃御用 10時

九月のご霊神様のお立日

九月

- 中島時彦之霊神 昭和62・09・02
- 平島信彦之霊神 昭和20・09・03
- 前田満之霊神 昭和42・09・03
- 庄村ミサ之霊神 昭和42・09・05
- 桐野伸太郎之霊神 昭和10・09・09
- 汰木スエ之霊神 昭和55・09・12
- 平島道雄真道別彦之霊神 昭和09・09・20
- 大重為廣之霊神 昭和24・09・22
- 汰木節夫之霊神 平成27・09・22
- 西本ハル子之霊神 平成17・09・25
- 桐野整之霊神 昭和45・09・28

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんさせていた
 き、お礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、
 ご霊前での玉串の奉てんを準備しています。

おくやみ

八月七日、桐野日満子さ
 んが満八十七才でお国替え
 されました。

霊のご安心とお道立てを
 お祈り申し上げます。

九月二十二日(祝) 十時半より
月例祭に併せて

秋季霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。

(霊祭申込用紙、二記入の上御結界へお届け下さい)

十月三日(土)〜四日(日)

御本部生神金光大神御大祭

交通機関…未定
宿泊先…光風館
旅費…未定

参拝

【一教会二名までの代表参拝】

熊本県南部(人吉)豪雨

復興支援活動 募金

※御用は拭き掃除など、日程が決まりましたら
お広前に掲示いたします。

教会行事

9月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 5 (土) 〓 6 (日)
- 中止(甘)「信徒の集い」
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●月例祭(生神金光)併せて 10時半
大神様 〓 霊祭
- 13 (日) 庄村家霊祭
- 21 (祝) 祝(敬老) 清掃御用 10時
- 22 (祝) ●秋季霊祭10時半
(天地金) 〓 月例祭(乃神様)
- 31 (金) 清掃御用 10時

10月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
併せて 教祖ご生誕祭
- 3 (土) 〓 4 (日)
- 御本部^{生神}金光大神 御大祭参拝
- 【一教会二名までの代表参拝】
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(生神金光)併せて 10時半
大神様 〓 月例霊祭
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭(天地金)共励会13時半
乃神様
- 31 (土) 清掃御用 10時
- 《未定行事》少年少女会・青年会
隣接関係教会御大祭



教会に設置してあります、「災害支援金箱」のお金は、連合会 社会活動委員会が集められ、災害時の復興支援活動に使われます。協力させていただきます。よろしく。



熊本県南部豪雨のお見舞い金として五千円を支出させていただきました。